

産婦人科

当科の方針と特徴

患者さんに良質の医療を提供すると共に、高度先進医療を含む高度医療も積極的に導入することを目指している。診療領域としては妊娠・分娩に関する周産期医療、婦人科良性及び悪性疾患に対する手術を中心とする婦人科医療、骨盤臓器脱を含めた女性ヘルスケア医療を取り扱っている。高度不妊治療に関しては地域のクリニックへのご紹介を含めた連携を行っている。

周産期医療に関しては、地域周産期センターとして、また大阪府産婦人科診療相互援助システム(OGCS)の準基幹病院として、年間約700の分娩を管理している。ほとんどを個室化して、プライバシーに配慮した環境で、小児科との連携を常に行いながら総合病院ならではの安全な分娩を目指している。

婦人科良性疾患に対しては、腹腔鏡や子宮鏡を用いた患者さんの身体に優しい鏡視下手術の適用を積極的に行っている。しかしながら高リスク症例に関しては術前カンファレンスで十分検討することにより術式を検討している。

悪性疾患に対しても機能温存を可能な限り考慮しているが、この場合根治性の担保を常に念頭に置き、術前カンファレンスで十分に討議して治療方針決定を行っている。子宮頸がんには、以前よりセンチネルリンパ節検索を用いた広汎性子宮全摘術、広汎性子宮頸部摘出術（トラケレクトミー）を施行し良好な成績を得ている。また子宮頸がんに対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術に関しては当施設は学会認定施設である。子宮体がんに対しても保険算定の腹腔鏡下あるいはロボット支援下の子宮体癌根治手術を施行している。放射線治療は放射線科とのカンファレンスを通じて、綿密な治療計画をたてている。抗がん剤治療は基本的には通院治療可能であり、腫瘍内科医との連携のもと外来化学療法室において十分な監視のもと施行している。また術後の合併症であるリンパ浮腫や排尿障害に対するサポート・治療が、看護師外来も含めてなされて効果をあげている。

女性骨盤外科分野は、メッシュ使用をとりやめ、従来からの骨盤臓器脱に対する治療を継続している。合併症や年齢に応じた治療が選択されて、高齢者の場合でも安全な治療となっている。骨盤臓器脱に対するペッサリー治療に関しては看護師主導の管理外来を開設しており、良好な治療定着率を得ている。

（a）産婦人科スタッフ医師14名（令和4年12月31日現在）

医師名	卒業年	出身校名	着任年月日	身分
樋口壽宏	昭和62年	滋賀医科大学	平成29年5月1日	主任部長
吉岡弓子	平成11年	大阪市立大学	平成30年10月15日	副部長
関山健太郎	平成12年	京都大学	令和3年5月1日	副部長
奥田亜紀子	平成15年	大阪医科大学	平成30年8月1日	副部長
小藺祐喜	平成18年	大分大学	平成25年4月1日	副部長
森部絢子	平成22年	京都大学	令和4年1月1日	医員
児嶋真千子	平成23年	鳥取大学	令和3年8月1日	医員
河合恵理	平成25年	奈良県立医科大学	令和元年5月1日	医員
山内綱大	平成27年	神戸大学	令和4年5月1日	医員
高折彩	平成26年	和歌山県立医科大学	令和3年4月1日	医員
中村しほり	平成28年	新潟大学	令和4年10月1日	医員
久保のぞみ	平成29年	京都大学	令和2年11月1日	医員
水田結花	平成31年	滋賀医科大学	令和3年4月1日	専攻医
山村聡俊	令和2年	京都大学	令和4年4月1日	専攻医
樫原由樹	令和2年	大阪市立大学	令和4年4月1日	専攻医
阿部秋子	令和2年	熊本大学	令和4年4月1日	専攻医

(b) 臨床業績等（令和4年1月～令和4年12月）

総外来患者数：25,868人
総入院患者数：1,735人
総手術件数：1,121件（小手術も含む）
病床数：52床（一部混合）
日本産科婦人科学会専攻医指導施設
周産期専門医制度指定研修施設
日本婦人科腫瘍学会指定修練施設
日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設

(c) 令和4年産婦人科主要手術件数：令和4年1月～令和4年12月

婦人科手術	件数	備考
単純子宮全摘術	76件	開腹 39件、腹腔鏡下 37件、ロボット 0件
良性卵巣腫瘍摘出術	111件	開腹 15件、腹腔鏡下 96件
子宮筋腫核出術	14件	開腹 10件、腹腔鏡下 4件
異所性妊娠手術	14件	開腹 0件、腹腔鏡下 14件
骨盤臓器脱手術	6件	
子宮鏡下検査・手術	170件	腰麻 26件、病棟手術 144件
子宮頸部円錐切除術	121件	腰麻 23件、病棟手術 98件
広汎子宮全摘術	8件	開腹 8件、腹腔鏡下 0件
広汎子宮頸部摘出術	2件	開腹 1件、腹腔鏡下 1件
準広汎子宮全摘術	9件	開腹 7件、腹腔鏡下 2件
子宮体がん手術	28件	開腹 12件、腹腔鏡下 11件、ロボット 5件
卵巣がん手術	24件	
再発がん手術（IDS含む）	5件	
その他	26件	
婦人科手術合計	829件	
産科手術		
帝王切開	219件	
頸管縫縮	8件	
吸引分娩	28件	
外回転	7件	
流産手術	30件	
産科手術合計	292件	

(d) 産科実績（令和4年1月～令和4年12月）

総分娩数（22週以降）：740件
帝王切開術：219件
NICU：有
母体外管理可能週数：妊娠 26週以後
新生児に対する小児科の対応は、当直あり、24時間常時対応可能。

(e) 学会発表、論文・著書

【学会発表】

- 吉岡弓子 Case discussion パネリスト 卵巣がんセミナー 2022/4/8 アストラゼネカ株式会社開催 オンライン講演会
- 関山健太郎 子宮頸部周囲の手術解剖に関する考察 第49回 FSiMA 国際医療塾

2022/4/23(Web)

- 3 関山健太郎 子宮悪性腫瘍手術の原則と設計図の描き方～TLHをデザインする～ 子宮悪性腫瘍手術を見据えたTLHセミナー STEP-1(エチコン) 2022/5/25(Web)
- 4 久保のぞみ、浅井麻由、水田結花、竹内祐美子、三枝遥、池田愛紗美、高折彩、河合恵理、児嶋真千子、森部絢子、山本彩、小菌祐喜、奥田亜紀子、関山健太郎、吉岡弓子、樋口壽宏 急激な転機をたどった再発粘液性境界悪性腫瘍の1例 第146回近畿産科婦人科学会学術集会 2022/6/18-19 (京都)
- 5 山内綱大 DXA法による大腿骨頸部の骨密度測定が有用であった一過性大腿骨頭萎縮症合併妊娠の一例 第58回日本周産期・新生児医学会学術集会 2022/7/10-12 (横浜)
- 6 山内綱大 両側付属器切除後のエストロゲン補充療法中に再発し、悪性化が疑われた直腸内膜症の一例 第64回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2022/7/14-16 (久留米)
- 7 関山健太郎 ワークショップ1 骨盤外科の解剖用語の違いを理解する JSES ロボット支援下骨盤リンパ節郭清標準化ワーキンググループからの提言 第64回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2022/7/14 (久留米)
- 8 山内綱大 A case of primary peritoneal choriocarcinoma of gestational origin. 第74回日本産科婦人科学会学術講習会 2022/8/5-7 (Web)
- 9 浅井麻由、山本彩、水田結花、久保のぞみ、高折彩、河合恵理、児嶋真千子、小菌祐喜、奥田亜紀子、関山健太郎、吉岡弓子、樋口壽宏 卵巣境界悪性腫瘍の再発診断について一当科で経験した再発例6例の検討 第74回公益社団法人日本産科婦人科学会学術集会 2022/8/5-7 (福岡)
- 10 Yamamura A, Okuda A, Asai M, Mizuta Y, Takaori A, Kawai E, Kojima M, Yamamoto A, Kozono Y, Sekiyama K, Yoshioka Y, Higuchi T ART is an independent risk factor for postpartum hemorrhage, especially in vaginal birth. 第74回公益社団法人日本産科婦人科学会学術集会 2022/8/5-7 (福岡)
- 11 関山健太郎 腔の展開～歴史から実践まで～ 子宮悪性腫瘍手術を見据えたTLHセミナー STEP-2(エチコン) 2022/8/22(Web)
- 12 山内綱大 Hirschsprung 病術後の卵管性不妊に対して腹腔鏡下卵管切除術を施行した一例 第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2022/9/8-10(横浜)
- 13 吉岡弓子 Case discussion パネリスト Ovarian Cancer Expert Conference 2022/10/4 アストラゼネカ株式会社開催 オンライン講演会
- 14 関山健太郎 開腹のリンパ節郭清(骨盤、傍大動脈) 第55回FSiMA国際医療塾 2022/10/22(Web)
- 15 久保のぞみ、阿部秋子、檜原由樹、山村雅俊、浅井麻由、水田結花、高折彩、河合恵理、児嶋真千子、森部絢子、小菌祐喜、奥田亜紀子、関山健太郎、吉岡弓子、樋口壽宏 安全な吸引分娩と経会陰超音波による分娩進行の評価 第147回近畿産科婦人科学会学術集会 周産期研究部会 2022/10/30 (京都)
- 16 阿部秋子、奥田亜紀子、檜原由樹、山村雅俊、浅井麻由、水田結花、尾崎孝宏、久保のぞみ、高折彩、山内綱太、河合恵理、児嶋真千子、森部絢子、小菌祐喜、関山健太郎、吉岡弓子、樋口壽宏 当院における超緊急帝王切開の検討 第147回近畿産科婦人科学会学術集会 周産期研究部会 2022/10/30 (京都)
- 17 関山健太郎 女性骨盤における生殖器と泌尿器の関係～実臨床に役立つ発生学～ 子宮悪性腫瘍手術を見据えたTLHセミナー STEP-3(エチコン) 2022/11/21 (Web)
- 18 関山健太郎 低侵襲手術の真の予後を解明するために ～腫瘍拡散を防止し切除範囲の質を管理する～ 第35回日本内視鏡外科学会学術総会 2022/12/8 (名古屋)
- 19 関山健太郎 発生学から考察する婦人科手術解剖 第58回FSiMA国際医療塾 2023/1/28 (Web)
- 20 関山健太郎 婦人科腫瘍専門医がやるべき内視鏡手術～子宮全摘術～ 第11回東京低侵襲婦人科手術研究会 2023/2/4 (Web)
- 21 関山健太郎 内視鏡下手術で見える女性骨盤外科解剖 第38回新潟産科婦人科・内視鏡下手術研究会 2023/2/18 (新潟)
- 22 関山健太郎 なぜあなたのTLHは上達しないのか?～自滅しないための解決策～ Ovarian

【論文】

(原著論文)

- 1 Sekiyama K, …, Anatomical location of the surgically identifiable bladder branch of the inferior hypogastric plexus for nerve-sparing radical hysterectomy. *Gynecol Oncol Rep.* 2023 Feb 18;46:101152. doi: 10.1016/j.gore.2023.101152. eCollection 2023 Apr. PMID: 36873857 (査読有り)
- 2 Okuda A, …, Higuchi T. Long-term vs short-term tocolysis with ritodrine hydrochloride: Propensity score-matched analysis. *European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology*, 2023-03-01, Volume 282, Pages 77-82, Copyright © 2023 Elsevier B.V (査読有り)
- 3 竹内祐美子, 奥田亜紀子, 三枝遙, 福井希実, 山本彩, 小藺祐喜, 関山健太郎, 吉岡弓子, 樋口壽宏 子宮全摘術後の膈上皮内腫瘍に対して膈壁部分切除を施行した7症例の検討、産婦人科の実際 2022;1:7:785-791 (査読有り)
- 4 三枝遙, 樋口壽宏, 久保のぞみ, 高折彩, 池田愛紗美, 河合恵理, 山本彩, 小藺祐喜, 奥田亜紀子 当施設における40歳超初産婦の分娩・新生児転帰の検討 日本周産期・新生児医学会雑誌巻:58:2:263-267:2022 (査読有り)
- 5 Yamamura A, Okuda A, Abe A, Kashihara Y, Kozono Y, Sekiyama K, Yoshioka Y, Higuchi T. The impact of assisted reproductive technology on the risk of postpartum hemorrhage: Difference by the mode of delivery and embryo transfer. *J Obstet Gynaecol Res.* 2023 Apr;49(4):1167-1172. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Yamano K, Sekiyama K, …, A case of dedifferentiated carcinoma associated with grade 1 endometrioid carcinoma with prominent squamous differentiation at the lower uterine segment. *Int Cancer Conf J.* 2022 Oct 17;12(1):63-68. doi: 10.1007/s13691-022-00579-2. eCollection 2023 Jan. PMID: 36605834 (査読有り)
- 2 福井希実, 小藺祐喜, …, 高折彩, …, 山本彩, 奥田亜紀子, 吉岡弓子, 石川奈美子, 樋口壽宏 集学的治療により制御しえた骨盤内リンパ節郭清術後難治性リンパ腹水の1例 日本婦人科腫瘍学会雑誌:40:1:1-9, 2022 (査読有り)

【著書】

- 1 関山健太郎 (共著) 44 女性生殖器用薬 治療薬ハンドブック 2022 薬剤選択と処方のポイント じほう Page 827-830 : 2022年1月15日発行
- 2 関山健太郎 広汎子宮全摘術に必要な解剖知識 広汎子宮全摘術と広汎子宮頸部摘出術 OGS NOW basic No.11 メジカルビュー社 Page10-21 : 2022年8月10日発行

【研究】

- 1 低侵襲広汎子宮全摘術の腫瘍学的予後の検討 (関山健太郎、奥田亜紀子、河合恵理、高折彩、浅井麻由)
- 2 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の手術手技に関する検討 (関山健太郎、吉岡弓子、高折彩、久保のぞみ、水田結花)
- 3 広汎性子宮頸部摘出術の腔式手術への発展 (樋口壽宏、小藺祐喜、河合恵理、浅井麻由、水田結花)
- 4 ロボット支援下の子宮体癌手術におけるセンチネルリンパ節検索の有用性の検討 (吉岡弓子、関山健太郎、久保のぞみ、水田結花)
- 5 腹腔鏡下子宮全摘術における尿管損傷回避のための術式検討 (関山健太郎、樋口壽宏、奥田亜紀子、河合恵理、竹内祐美子)
- 6 腹腔鏡下子宮筋腫核出時の筋腫細切術の工夫

- (樋口壽宏、小藺祐喜、森部絢子、久保のぞみ、浅井麻由)
- 7 婦人科癌手術における深部静脈血栓症の発生についての検討
(小藺祐喜、吉岡弓子、奥田亜紀子、河合恵理、高折彩)
 - 8 40歳超高年初産婦の周産期予後に関する検討
(奥田亜紀子、小藺祐喜、森部絢子、久保のぞみ、三枝遙)
 - 9 切迫早産管理時の Short term tocolysis の有用性に関する検討
(奥田亜紀子、森部絢子、河合恵理、高折彩、浅井麻由)